◆22年度予算概説

市民の幸せと笑顔をつくる新年度予算

市の22年度予算は2月25日に召集された市議会定例会に提案し、3月19日に賛成多数で可決されました。一般会計と7つの特別会計、2つの企業会計合わせて約235億円。ここでは、新年度予算のあらましについて紹介します。

経済や国政など、さまざまな環境が大きく変動する時代の中、より強固な地方自治を確立しなければなりません。

市議会3月定例会の冒頭で田村正彦市長は「開かれた市政と住民の満足度を高めるために、対話の行政をなお一層展開します。さらに市議会の皆さんと力を合わせ、活力ある八幡平市を目指して誠心誠意努力しますので、市民の皆さんのご理解とご協力を心からお願い申し上げます」と新年度の施政方針を述べました。

市は、慎重な審議を経て市議会で原案どおり可決されたこの予算に基づき、4月1日から22年度のまちづくりをスタートしました。

この予算のあらましは、左ページのとおりです。8～11ページで、この予算で行われるまちづくりの主な事業について紹介。12ページで、新年度予算を編成した後の市の財政状況についてお知らせします。

新年度予算の内容について詳しくは、市企画総務部財政課財政係（☎76－2111、内線1233）まで。

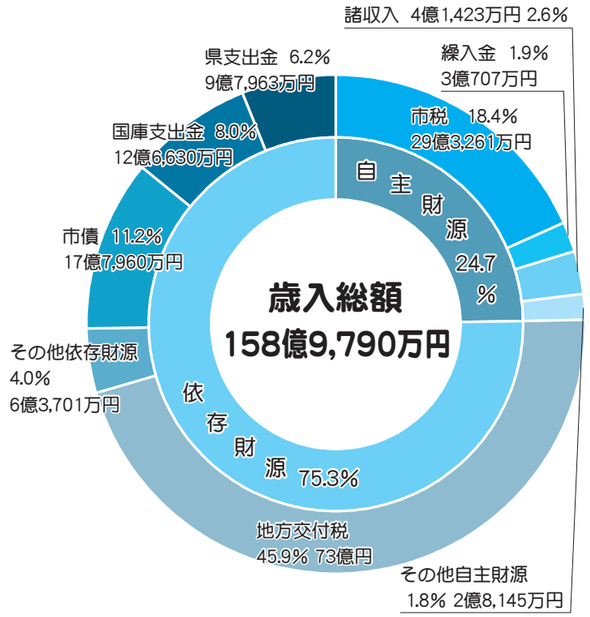
【歳入】国・県からの交付税など市民1人当たり約31万円に

Point

22年度一般会計予算の総額は、158億9790万円で、前年度と比較して1.2㌽の伸びとなりました。これは、子ども手当てなど国の新たな制度が始まることで、関連経費の歳入が増加したことによるものです。

歳入で、もっとも大きいものは地方交付税の73億円で前年比2.8㌽の増加。次いで市税の29億3261万円、市債の17億7960万円となります。市税は3.1㌽の減少、市債は1.9㌽低く抑えました。財政基盤の強さを示す自主財源比率は子ども手当ての関連経費などで国からの歳入が増えたことから24・7㌽となり、2.2ポイント低下しました。

税収は若干低下しているものの、市債の新規発行を抑え、健全な財政運営を継続しています。

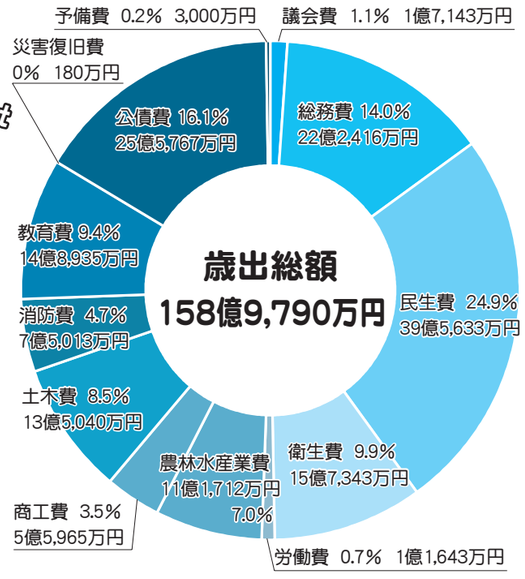


【歳出】市民1人に約53万5千円の予算を使いまちづくり

Point

歳出予算は、民生費が39億5633万円となり、全体の4分の1を占める最大規模となりました。これは、子ども手当て経費が増えたほか、市単独の乳幼児等医療費助成の対象を小学生まで拡大することなどにより、21年度比で9.6㌽と大きく増加したことによるものです。

道路や橋の整備を行うほか、引き続き住宅リフォームへの支援を実施することにより、土木費は11・5㌽増の13億5040万円。一般廃棄物最終処分場の建設で、衛生費は8.4㌽増加して15億7343万円です。また、新規事業として緊急新規学卒者雇用奨励金の実施やふるさと雇用再生特別事業の実施により、労働費は309㌽伸びて1億1643万円。元利償還金の減により、公債費は10・2㌽減の25億5767万円です。



●表　22年度特別会計・企業会計の予算額

会計名	予算額
国民健康保険（事業勘定）	35億　952万円
老人保健	584万円
公共下水道事業	6億1,154万円
農業集落排水事業	12億7,636万円
浄化槽事業	5,556万円
国民健康保険（診療施設勘定）	3億　788万円
後期高齢者医療	2億2,523万円

会計名			予算額
水道事業	収益的	収入	5億3,769万円
		支出	5億2,775万円
	資本的	収入	1億8,726万円
		支出	3億7,166万円
西根病院事業	収益的	収入	6億9,505万円
		支出	6億9,505万円
	資本的	収入	1,872万円
		支出	2,574万円

子育て支援のさらなる充実など市民満足度を高める予算

22年度予算の使いみち
市民満足を高める新年度の主要な施策

◆安心の子育て環境づくり

乳幼児医療費助成 継続

5,267万３千円

市独自の子育て支援策として、22年度から医療費全額助成の対象を小学生まで拡大します（所得制限なし）。このために要する経費は2,400万円の見込みです。

◆地域の高卒者などの雇用を守る

緊急新規学卒者雇用奨励金 新規

3,600万円

22年３月までに新規に常用労働者として採用内定した対象者１人当りにつき、月10万円を２年間にわたって雇用主に奨励金として支給します。

◆地域経済を下支えする積極策

住宅リフォーム支援事業 継続

2,000万円

事業費50万円以上の住宅のリフォームに対して、２割相当（上限20万円）の八幡平市共通商品券を給付します。21年度からの継続です。

南側立面図

北側立面図

◆地域活性化の新拠点

松尾地区コミュニティセンター整備 継続

２億3,726万８千円

21年度に旧松尾地区公民館を解体した跡地に建設します。新たなコミュニティセンターは、23年度に完成予定です。

◆市民生活の基礎的インフラ整備

市道等整備 継続

４億4,578万５千円

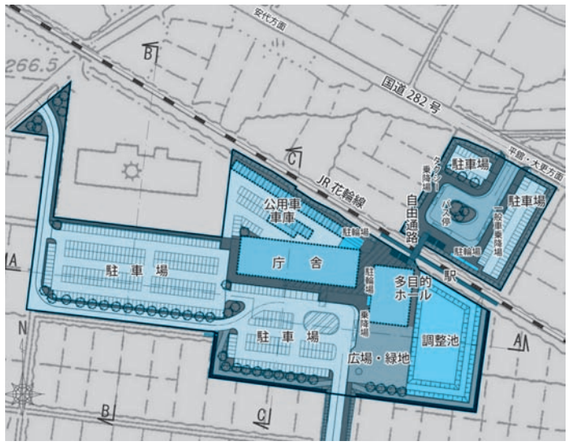
市道日影山蟹沢線、市道堀切線（赤川橋橋梁予備設計）、市道中田野駄森線、市道南森線、市道山後開拓線（排水路）、県道焼走り線、市道新舘堀割線、市道共新住宅線、市道兄川支線（折合橋）、（仮称）森子支線など整備します。

◆長期的視野で市民の利便を高める

庁舎建設事業 継続

１億3,941万２千円

施設配置計画ができたことを受け、庁舎を建設するために必要な、庁舎建設実施設計や庁舎建設敷地造成実施設計などを行います。実際の庁舎建設工事は、23年度以降に開始する計画です。



◆基盤産業の担い手を育成する

新規就農者等支援事業補助金 継続

289万円

新規に市内で就農する人を支援し、市の基幹産業である農業の担い手育成をするものです。新規就農者支援金（家賃への助成含む）、研修を受け入れる農家への支援などを行います。なお、この事業は３年間に限って実施するものです。

◆児童生徒の安全な登下校のため

スクールバス等運行業務（西根地区） 新規

2,466万５千円

これまで運行していなかった西根地区内について大更小学校、西根中学校、寺田小学校、西根第一中学校方面へバスを運行します。

◆生徒の安全を守る改修

西根中学校校舎改修工事実施設計 新規

1,283万５千円

西根中学校校舎を耐震補強するための、実施設計を行います。本工事については23年度実施予定です。

第６次産業化促進支援事業補助金

新規

100万円

農業者組織などが商品開発、販路開拓、販売促進、施設整備などの事業を行う場合に、補助を行います。

第60回全国高等学校スキー大会実行委員会補助金

新規

1,500万円

23年早々に予定されているスキーインターハイ運営のため、補助を行います。

テレビ難視聴地域解消事業

継続

3,750万円

天狗森、戸鎖、佐比内、荒屋新町、湯の沢、杉沢などの共聴組合に対して、デジタル化改修のため補助を行います。

八幡平景観保全事業

新規

1億2,750万円

国立公園の入り口に位置する八幡平ロッヂなどの老朽化施設を安全や景観面に配慮して、県と市の負担で解体撤去。イメージアップを図ります。

八幡平市共通商品券特典事業補助金

継続

836万７千円

１億２千万円分の八幡平市共通商品券の購入特典として、５パーセント相当額を交付する事業に対して補助します。

グラウンド利活用計画策定業務

新規

500万円

上寄木グラウンド（サッカー場２面）、中山グラウンド（ラグビー場２面）、陸上競技場の改修について検討を行います。

一般廃棄物最終処分場整備事業

継続

２億133万円

現在使用している最終処分場の容量がまもなく満杯になることから、新たな処分場を整備します。23年度の完成予定です。

新規訪日中国人誘客促進事業補助金

新規

500万円

岩手県大連事務所と連携し、新規に訪日する中国人宿泊者の誘客事業を行います。

明治百年記念公園小水力発電所建設

継続

5,888万８千円

クリーンな自然エネルギーを利用した小水力発電所を建設します。小中学生への教育の場などとして提供し、豊かな自然エネルギー供給のまちを内外にアピールします。

市有林間伐整備事業

新規

2,633万５千円

約115ヘクタールの市有林を間伐します。全額県補助金による事業です。

りんどう生産規模拡大対策事業費補助金

継続

150万円

新規作付・面積拡大をする場合の苗代、資材代に対し助成します。

ふるさと雇用再生特別基金事業

継続

4,185万円

観光案内事業、安比塗漆器堂運営事業、八幡平産直協同組合運営事業、寺田学童保育クラブ運営事業など。全額県補助金による事業です。

大更駅周辺環境整備基本計画作成

新規

657万５千円

地域の皆さんの声を聞きながら、大更駅周辺の整備計画を策定します。

市民歌制定事業

継続

544万５千円

21年度に広く一般から公募した市民歌の歌詞をもとに作曲を行います。また、レコーディング、ＣＤ作成、発表会などを行います。

集落営農組織支援事業補助金

継続

349万９千円

市の基幹産業である農業を支える集落営農組織に対して、組織育成などを目的として補助を行います。また、新規組織化の支援にも取り組みます。

第４分団積載車等整備（渋川・白屋）

新規

1,415万９千円

市民の生命・財産を守るため、老朽化した消防車両の更新や消防機械器具置き場の改築などを行います。

八幡平市環境基本計画策定業務

新規

556万５千円

市の環境に関する施策をどのように進めていくか、総合的に検討する基本計画を２カ年で策定します。

特定不妊治療費助成

新規

80万円

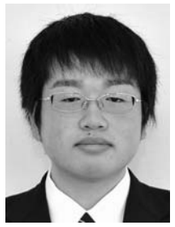
県単独事業で行われている不妊治療への助成に対して、市単独で上乗せを行います。少子化対策として22年度からの新規事業です。

22年度のまちづくり体制

※このページは抜き取ってお使いいただけます

新採用職員

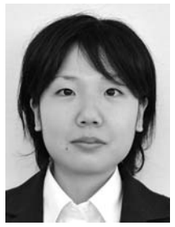
佐々木　亜久里
市民部保健課
主事補



田村　直大
市民部税務課
主事補

佐藤　綾佳
福祉部地域福祉課
主事補

大森　美香
市民部市民課
主事補



中川原　文香
市民部保健課
栄養士

小野寺　里美
福祉部児童福祉課
主事

［**太字**は異動者・新採用、色字は昇任］

企画総務部 所属	職名	氏名
総務課	課長	**佐々木　正志**
	課長補佐	**津志田　徳悦**
	行政係長	**松村　錦一**
	広報統計係長	高橋　政典
	地域安全係長	**津志田　勇孝**
	主任	**佐藤　憲一**
	主任	遠藤　由美子
	主任	斎藤　美保子
	主任	中軽米　健
	主事	関　満
	主事	**佐々木　智彦**
	主事	遠藤　園子
	主事	**北口　拓也**
	主事	宮野　政智
	主事	**高橋　慶亘**
	主事	**工藤　宣明**
	自動車整備管理者兼主任自動車運転手兼主任作業員	伊藤　正行
	課付	岡田　久
総合政策課	課長	**古川　伸也**
	課長補佐兼政策調整係長	遠藤　等
	地域情報係長	工藤　久志
	行政経営係長	佐々木　孝弘
	主任	坂本　譲
	主任	及川　隆二
	主任	**遠藤　祐一**
	主任	**中軽米　真人**
	主事	佐々木　靖人
	主事	金田一　捷誠
	係長（岩手大学地域連携推進センター）	高橋　正明
庁舎建設対策室	室長	工藤　賢一
	室長補佐	**佐々木　宣明**
	主任	伊藤　正行
財政課	課長	小野寺　浩
	課長補佐兼管財係長	小山田　克則
	契約係長	佐々木　孝弘
	財政係長	工藤　久志
	主任	遠藤　由美子
	主任	斎藤　美保子
	主任	中軽米　健
	主事	関　満
	主事	**佐々木　智彦**
	主事	遠藤　園子
	主事	**北口　拓也**
	主事	宮野　政智
	主事	**高橋　慶亘**
	主事	**工藤　宣明**

市民部 所属	職名	氏名
地域振興課	課長兼西根総合支所地域振興課長	**高橋　肇悦**
	課長補佐兼地域振興係長兼西根総合支所地域振興課主任	**武田　啓子**
	主任兼西根総合支所地域振興課主任	関　貴之
	主事兼西根総合支所地域振興課主事	遠藤　光志
市民課	課長兼清掃センター所長兼斎場長	遠藤　栄太
	課長補佐兼環境衛生係長	**高橋　桂子**
	副主幹兼戸籍住民係長	葛西　美羽子
	主任	畠山　拓
	主任	佐々木　洋美
	主任	高橋　美穂
	主事	大場　藍
	主事	阿部　正陽
	主事	伊藤　研
	主事補（新採用）	向久保　智彦
	係長兼斎場係長	米田　直光
清掃センター	主任	工藤　晴彦
保健課	課長	**種市　光則**
	課長補佐	**藤田　濱子**
	副主幹兼国保年金係長	高橋　益子
	保健係長	**松村　たづ子**
	主任栄養士	田村　直子
	栄養士（新採用）	**中川原　文香**
	主任保健師	高橋　悦子
	保健師	小林　恵美子
	保健師	山本　静子
	保健師	渡辺　夕夏
	保健師	種市　恵美
	保健師	伊藤　千晶
	主任	伊藤　緑
	課長補佐	関　宏典
	主任	泉山　竜一
	主事	沼田　崇
	主事	舘柳　佳子
	主事	佐々木　優聡
	主事補（新採用）	**佐々木　亜久里**
	課付（課長補佐級・後期高齢者医療広域連合派遣）	**遠藤　武彦**

22年度市財政の概況

基金の残高を増やすなど健全性が高まる

●表１　市の財政指標など

区　分		22年度当初予算	21年度当初予算
予算規模		158億9,790万円	157億560万円
対前年比歳入伸率	市税	－3.1%	－3.4%
	地方交付税	＋2.8%	－1.4%
	市債	－1.9%	＋18.7%
対前年比歳出伸率	人件費	－4.5%	＋0.8%
	扶助費	＋23.3%	＋9.2%
	公債費	－10.2%	－8.2%
	普通建設事業費	＋12.7%	－0.8%
	うち市単独	＋37.0%	＋7.5%
自主財源比率		24.8%	27.0%
義務的経費比率		47.6%	48.6%
市債依存度		11.2%	11.5%
年度末の市債残高見込み		174億9,473万円	181億3,822万円
市民１人当たり市債残高		58万２千円	59万４千円

市の22年度一般会計当初予算は、総額158億9790万円で、前年度より1億92万円、1.2㌽増加しています。これから子ども手当による増額分2億5393万円を差し引くと、実質的には前年度比で0.4㌽減った予算ですが、人件費や公債費が減った分、子育てや雇用対策、産業振興に重点を置いた予算になっています。

人件費・公債費の総額は減少し続ける

市の支出の中でも特に大きな割合を占めているのが、人件費と公債費です。合併してから、市では人件費と公債費の節減に努めてきました。合併した17年度の人件費と公債費の合計額は、65億8428万円でしたが、これを順調に減らし、22年度は、56億3772万円と、9億4652万円少なくなる見込みです。

市の借入金残高は合併以後で33億円の減少に

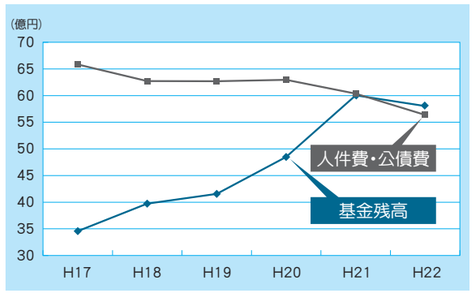
一般会計で起こす市債と企業会計で起こす企業債の残高の推移をみると、下水道事業が進んでいるため企業債は増える傾向にあるものの、一般会計の基金の主なものは、財政調整基金、減債基金、特定目的基金、土地開発基金です。財政調整基金は財源に不足を生じた場合に備えるため、減債基金は市債の償還に必要な財源を確保するために積み立てておくものです。また、特定目的基金は、それぞれの目的に応じて積み立てるもので、庁舎整備基金、合併市町村振興基金、農と輝の大地基金など、10の基金があります。土地開発基金は、公用・公共用の土地をあらかじめ取得する場合に備えるものです。

17年度末の残高は、合計で34億5704万円でしたが、22年度末の残高は58億3573万円になり、23億4653万円増える見込みです。

基金残高は増加する傾向が続きます

一般会計で普通建設事業を抑制している効果が出て、市債は順調に減り続け、総額でも毎年減り続けています。22年度末では、17年度末よりも33億5666万円の元金が減る見込みです。

●グラフ　人件費・公債費、基金残高の推移



●表２　市債・企業債残高の推移

年度	市債（一般会計）	企業債（その他会計）	合計
17	216億7,881万円	145億1,619万円	361億9,500万円
18	207億　394万円	149億2,918万円	356億3,312万円
19	193億5,750万円	151億　92万円	344億5,842万円
20	183億4,161万円	154億7,096万円	338億1,257万円
21	179億7,229万円	153億　533万円	332億7,762万円
22	174億9,473万円	153億9,461万円	328億8,934万円

※17～20年度は決算額、21年度は補正後予算による見込み額、22年度は当初予算による見込み額

人事異動

［ **太字**は異動者・新採用、**色字**は昇任 ］

所属	職名	氏名
税務課	課長	**石羽根福武**
	課長補佐	**工藤加寿子**
	市民税係長	村上郁子
	資産税係長	遠藤幸宏
	主査	三浦るみ子
	主任	**立花浩**
	主任	佐々木聡子
	主任	伊藤信幸
	主事	坂本幸子
	主事	**遠藤佑輔**
	主事	下川麻季子
	主事補	関悠
	主事補（新採用）	**田村直大**
収納課	課長	藤村裕子
	課長補佐兼収納第三係長	**遠藤俊彦**
	収納第一係長	遠藤竹弥
	収納第二係長	**高橋琢紀**
	主任	遊坐栄一
	主任	高橋繁範
	主任	**伊藤孝治**
	主事	北舘有輝
	主事	柳沢大輔
福祉部		
	部長兼福祉事務所長	**小野寺清美**
	部付（部長級・盛岡北部行政事務組合派遣）	**浦田信悦**
地域福祉課	課長	畠山一彦
	課長補佐兼福祉総務係長	**遠藤富喜子**
	副主幹（障害福祉）	高村恵子
	障害福祉係長	佐々木仁
	生活保護係長	工藤紀之
	主任社会福祉主事	本堂清寿
	主任社会福祉主事	遠藤悟
	社会福祉主事	土村岳
	主事	小綿隆
	主事	**舘柳竜一**
	主事補（新採用）	**佐藤綾佳**
児童福祉課	課長	米田登志子
	課長補佐兼子育て支援係長	松浦淳二
	副主幹兼児童福祉係長	斎藤恵美子
	主任栄養士	田村順子

所属	職名	氏名
児童福祉課	主任	**北口美智子**
	主任	工藤裕志
	主任	高橋武士
	主事	**佐々木晴美**
	主事（新採用）	**小野寺里美**
大更保育所	所長兼寺田保育所長	**滝沢ミツエ**
	副所長兼主任保育士	鳥居和枝
	主任保育士	古川千恵子
	主任保育士	村田律子
	保育士	**高橋千春**
	保育士	遠藤美咲
	主任調理員兼主任用務員	本堂由紀子
	主任調理員兼主任用務員	小舘久美子
寺田保育所	副所長兼主任保育士	**工藤節子**
	主任保育士	山口静
	保育士	佐々木幸恵
	調理員兼用務員	田村真紀
松野保育所	所長	**森寛子**
	副所長兼主任保育士	工藤順子
	主任保育士	高橋佳代
	主任保育士	高橋幸子
	主任調理員兼主任用務員	**荒川美津子**
寄木保育所長	所長兼柏台保育所長	**工藤潤子**
	副所長兼主任保育士	畠山礼子
	主任保育士	畠山ひろみ
	主任保育士	**藤井聡子**
	調理員兼用務員	田村智子
柏台保育所	副所長兼主任保育士	**武藤優子**
	主任保育士	佐藤ひと美
	保育士	小野真由美
	調理員兼用務員	田口志保子
あしろ保育所	所長兼あしろ保育所畑分園長	**杉本るみ子**
	副所長兼主任保育士	金沢美恵子
	主任保育士	鈴木文香
	主任保育士	関悦子
	主任保育士	**斎藤恵理子**
	保育士	**立柳明日香**
	調理員兼用務員	安保美由樹
畑分園	副分園長兼主任保育士	**高橋郁子**
田山保育所	所長	山本晶子
	副所長兼主任保育士	**畠山卓子**

所属	職名	氏名
田山保育所	副所長兼主任保育士	大森玲子
	主任保育士	**滝沢登美子**
	調理員兼用務員	北舘史恵
長寿社会課	課長兼地域包括支援センター所長	**工藤定男**
	課長補佐兼包括支援センター所長補佐	香川豊
	副主幹（西根老人憩の家）	佐々木寿美
	副主幹兼包括支援センター係長	高橋公子
	高齢福祉係長	**村上直樹**
	主任保健師	松尾淳子
	主任保健師	工藤千歳
	主事	田村修一
	主事	武内晶
	主事	田村崇宏
	主事補	松尾亮
	課付（課長補佐級・盛岡北部行政事務組合派遣）	小山田美恵子
	課付（係長級・盛岡北部行政事務組合派遣）	佐々木由理香
	課付（主任級・盛岡北部行政事務組合派遣）	**伊藤健児**
	課付（主事級・盛岡北部行政事務組合派遣）	斉藤清香
産業部		
	部長	工藤昭二
農政課	課長兼家畜診療所長	**藤原一彦**
	課長補佐（農政・畜産）	**伊藤時彦**
	農政係長	**田村泰彦**
	畜産係長	田村春彦
	主任技師	橋本光幸
	主任	**高橋潤**
	主事	中軽米広和
	課長補佐（農業振興支援センター）	**小林清功**
	主任（農業振興支援センター）	松尾茂
	主事（農業振興支援センター）	山本和範
家畜診療所	副所長	関和弘
花き研究開発センター	所長兼地域資源利活用施設所長	日影孝志
	副所長	横山温
	主査	古川弥忍
	主任技師	遠藤満
	主任技師	高橋亮
商工観光課	課長兼安代漆工技術研究センター所長兼安比塗漆器工房所長	高橋一夫
	課長補佐兼商工労政係長兼安代漆工技術研究センター所長補佐兼安比塗漆器工房所長補佐	**田村昌治**

所属	職名	氏名
商工観光課	観光振興係長	阿部正昭
	主任	畑肇
	主事	元木洋介
	主事	**田村麻衣**
	主事	工藤瞳
	主事補	工藤竜也
	課長補佐（八幡平市観光協会派遣）	**工藤正**
安代漆工技術研究センター	副主幹兼安比塗漆器工房副主幹	冨士原文隆
企業対策室	室長	**畠山弘明**
	係長	高橋康幸
	主任	畠山健一
建設部		
	部長	**畑孝夫**
建設課	課長	**工藤孝栄**
	課長補佐兼都市計画係長（建築）	遠藤明広
	課長補佐（管理・土木）	佐藤泰平
	副主幹兼管理係長	菅原浩人
	建築係長	畑山直己
	土木係長	森政彦
	主任技師	藤村弘美
	主任技師兼防災ダム管理所管理主任	小林慎
	主任技師	羽沢貴
	主任技師	高橋伸也
	主任技師	竹田直也
	技師	**遠藤芳彦**
	主任	伊藤篤
	主事	田村大
	主事	高橋稔耶
	主任自動車運転手兼主任作業員	**乙部一男**
	自動車運転手兼作業員	**伊藤正幸**
上水道課	課長	**工藤武夫**
	課長補佐	**工藤明男**
	副主幹兼総務経営係長	佐藤由子
	工務係長兼水道技術管理者	**工藤剛**
	主任	高橋百合子
	主任	佐藤新
	主事	松尾竜也
	主事	田村久子

所属	職名	氏名
上水道課	主任工手	遠藤浩二
	主任工手	**工藤信**
	工手	上野英樹
	工手	北口建人
下水道課	課長	高橋初
	課長補佐兼管理係長	佐藤友一
	工務係長兼防災ダム管理所管理	堀口武一
	主任	滝沢麻紀
	主任	立柳明
	主任技師	**高橋和幸**
	主任技師	佐々木誠
	技師	佐々木久禎
	主事	鈴木瞳
	主事	高橋孝徳
病院・診療所		
西根病院	病院長	**三浦義明**
	副院長兼内科長	加藤隆幸
	副院長兼外科長	**滝山郁雄**
	事務局長	**田村勇**
	事務局長補佐兼庶務係長	工藤義昭
	副主幹兼医事係長	**高橋浩**
	主任	遠藤真知子
	薬剤師	中軽米宰
	診療放射線技師	工藤悦夫
	診療放射線技師	工藤貴洋
	臨床検査技師	坂本杏子
	臨床検査技師	高村光一
	理学療法士	吉田恭
	栄養士	田村智美
	看護師長	吉田枝美子
	副看護師長	小野寺美津子
	看護主任	伊藤秀子
	看護主任	高橋美津江
	看護主任	佐々木美幸
	看護副主任	畑山るみ子
	看護副主任	高橋玲子
	看護副主任	舘柳恵美子
	看護副主任	高橋由美子
	看護副主任	田村美智代
	看護師	桜井友子

所属	職名	氏名
西根病院	看護師	工藤恵美子
	看護師	留場尚子
	看護師	宮野薫
	看護師	本堂由賀子
	看護師	高橋美香
	看護師	高橋ひとみ
	看護師	古川亜寿香
	看護師	佐々木里美
	看護師	工藤八千代
	看護師	中屋克江
	看護師	高橋美代子
	看護師	高橋美樹
安代診療所	診療所長	和田進
	事務長兼田山診療所事務長	**藤森恵**
	主事兼田山診療所主事	佐藤光
	看護師長	津島綾子
	看護副主任	三浦百合子
	准看護師	田中美香
田山診療所	診療所長	佐々木一匡
	事務係長兼安代診療所事務係長	佐藤令子
	准看護師	佐藤慶子
	准看護師	森和江
会計課		
	会計管理者兼会計課長	**畑山勝美**
会計課	課長補佐兼出納係長	黒沢博範
	副主幹兼審査係長	菅野美津子
	主任	**工藤能久**
	主任	西山広美
	主事	佐藤学
西根総合支所		
地域振興課	自動車整備副管理者兼主任自動車運転手兼主任作業員	高橋健四郎
	主任自動車運転手兼主任作業員	田村幸三
	主任自動車運転手兼主任作業員	小野寺瑞夫
松尾総合支所		
	総合支所長兼地域振興課長	**鈴木伸也**
地域振興課	課長補佐（併任農業委員会事務局長補佐）	**高橋石夫**
	課長補佐兼市民福祉係長	佐々木芳子

［太字は異動者・新採用、色字は昇任］

所属	職名	氏名
地域振興課	副主幹兼地域振興係長	乙部勉
	副主幹	中軽米悟
	主任	高橋由泰
	主任	佐藤華央
	主任（併任農業委員会事務局主任）	小山田龍司
	主事	佐々木和査
	自動車整備副管理者兼主任作業員	三浦裕子
	自動車整備管理者兼主任自動車運転手兼主任作業員	石羽根稔
	自動車運転手兼主任作業員	松浦末男
	主任自動車運転手兼主任作業員	中村正利
	主任自動車運転手兼主任作業員	立柳正
	自動車運転手兼作業員	佐々木隆
	自動車運転手兼作業員	高橋正広
	自動車運転手兼作業員	元村和明
	自動車運転手兼作業員	田村仁
	自動車運転手兼作業員	遠藤公治
	自動車運転手兼作業員	荒井健
	自動車運転手兼作業員	門屋正勝
安代総合支所	総合支所長	種市慶雄
	課長兼田山スキー場支配人	宮崎敏彦
	課長補佐兼地域振興係長	小山田巧
	市民福祉係長	遠藤福子
	主任	工藤拓子
	主任兼田山スキー場索道主任	工藤輝樹
	主任	羽沢りち子
	主任	関口清行
	主事	遠藤桂
	自動車運転手兼作業員	畑敢
	支所長兼市民係長（併任田山公民館長補佐兼田山体育館長補佐兼田山スポーツ交流館長補佐）	田村英典
田山支所	主任	種市芳子
土木林業課	課長兼防災ダム管理所長	北館本正信
	課長補佐兼林業係長	関本敏博
	産業建設係長	関本敏博

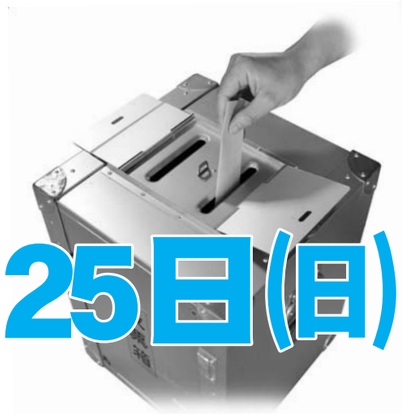
所属	職名	氏名
土木林業課	主任	斎藤啓志
	主任（併任農業委員会事務局主任）	山本大輔
	主任	清川智紀
	主任	高橋亮
	自動車整備副管理者兼主任作業員	畠山和義
	主任	立花幸夫
防災ダム管理所	所長補佐	小笠原文彦
監査	書記	西田光吉
	事務局長	伊藤宏子
議会事務局	庶務係長	渡辺信
	議事係長	伊藤純子
	事務局長補佐	大森光洋
議会事務局	主事	高橋三夫
議会・監査委員・選挙管理委員会・農業委員会事務局	主任	立花幸夫
選管	係長	小笠原文彦
農業委員会	事務局長	高橋末男
	副主幹兼地調整係長	工藤栄光
	主任	渋谷栄光
	副主幹兼農業振興係長	中軽米昭彦
	主事	福士勝章
教育委員会事務局	教育次長	佐々木忍
	課長兼学校給食センター所長	高橋敏彦
	課長補佐兼指導係長兼主任指導主事	阿部真一
	課長補佐（総務・学事）	高橋賢悦
	学事係長	阿部春美
	総務係長	渡辺修
	主任	遠藤桂
	主事	畑敢
	自動車運転手兼作業員	多賀理拡
	支所長兼市民係長（併任田山公民館長補佐兼田山体育館長補佐兼田山スポーツ交流館長補佐）	関敏博
田山支所	主任	村上輝身
土木林業課	課長兼防災ダム管理所長	関敏博
	課長補佐兼林業係長	関敏博
	産業建設係長	関敏博

所属	職名	氏名
生涯学習課	課長補佐（生涯学習）	佐藤文城
	体育振興係長兼社会教育主事	多田和雄
	生涯学習係長	三浦剛喜
	主査兼西根地区市民センター主査兼西根地区体育館主査	村井伸地
	主事	東本茂樹
	主事	大沢沙苗
	主事	高橋美穂
	主事	種市歌南子
	主事	小田島敦
小学校	大更小学校主任用務員	関たえ子
	田頭小学校主任用務員	松村一夫
	平舘小学校主任用務員	松尾弘樹
	寺田小学校主任用務員	佐藤智子
	安代小学校主任用務員	熊谷睦子
中学校	西根中学校主任用務員	小林和博
	西根第一中学校主任用務員	中村健悦
	安代中学校用務員	盛内和子
給食センター	所長補佐	高橋スミ子
	西根地区学校給食センター主任	藤原重良
	安代地区学校給食センター係長	津島佐智幸
公民館	大更公民館主任	松村利紀
	田頭公民館主任兼田頭コミュニティセンター主任兼田頭体育館主任	高橋陽子
	平舘公民館主任兼平舘体育館主任	伊東光広
	寺田公民館主事兼寺田活性化センター主事兼西根歴史民俗資料館主事兼寺田柔剣道場主事	畠山耕
	松尾地区公民館副主幹兼係長兼松尾歴史民俗資料館係長兼松尾ふれあい文化伝承館係長	高橋順子
	松尾地区公民館主任自動車運転手兼松尾地区公民館主任用務員	工藤四次郎
	安代地区公民館係長	鈴木弘志
図書館	副主幹	畠山忠
博物館	副主幹	目時浩一

選挙2010

市議会議員選挙

投票日は 4月25日(日)



任期満了による八幡平市議会議員選挙は4月18日(日)に告示され、25日(日)に投開票が行われます。

投票日に投票できない人は、期日前投票を行いましょう。

次の日程で行われ、どの会場でも投票することができます。

▽期間　4月19日(月)から24日(土)まで

▽時間　午前8時半から午後8時まで

▽場所　西根地区市民センター、松尾総合支所、安代総合支所

詳しくは、市選挙管理委員会事務局(☎76－2111、内線1299)まで。

期日前投票も活用ください

苗木の植樹など緑化推進事業を応援

岩手県緑化推進委員会八幡平支部では、22年度の緑化推進事業(苗木配布など)の要望を受け付けています。

自治会や地区の行事でサクラやツツジを植えたいなど、事業の要望がある場合は、安代総合支所土木林業課まで問い合わせください。

21年度の市民の皆さんからの「緑の募金」の募金額は、855,193円でした。ご協力ありがとうございました。

詳しくは、安代総合支所土木林業課(☎72-2111、内線3142)まで。

地域の行事などで植樹をしてみませんか(写真と本事業とは関係ありません)

乳幼児医療費助成事業対象者を拡大します

市は、子育て支援事業の一環として、4月から乳幼児医療費助成事業の対象年齢を小学校卒業まで拡大しました。

助成の内容は、乳幼児と同様で、保険適用分(食事負担金を除く)が対象となり、所得制限、自己負担はありません。

■対象者　市内に住所を有する小学校6年生までの児童(既に重度心身障害者、母子家庭医療費助成事業に該当している人を除く)

■申請方法

▷申請書が手元に届いている人　申請書を郵送または市市民部保健課窓口に提出してください。

▷申請書が手元に届いていない人　市市民部保健課まで連絡ください。申請書を送付します。

※窓口での申請も可能です。

3月31日まで有効の乳幼児医療費助成受給者証を持っている人には、4月から使用できる児童用の医療費受給者証をすでに発送しています。

詳しくは、市市民部保健課(☎76-2111、内線1145)まで。